

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和5年6月8日

作成者：寺田 緑

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
西宮友の会芦屋方面	
事業名	日時(期間)、場所
小鍋帽子を縫う会	令和5年2月8日(水) 会員宅 18日(土) 会員宅
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
○電気代・ガス代高騰の昨今、かねてより全国友の会が推奨してきた鍋帽子®を「もっと使いやすく!」と講習を受けてきた会員による伝達講習会を行った。	(のべ30)人
○作成のためにはミシンが必要で市内の公共施設では実施が不可能なため、会員宅を開放しての講習となった。又新型コロナウイルスも5類指定以前だったため、会員外の参加は見送った。	参加者数
○作成した小鍋帽子を有効に利用するため、キッチンでは「茶碗蒸し」のデモンストレーションを行い、意欲喚起とした。	(のべ30)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
○思ったより簡単に作成することができ、すぐ生活の中で使用することができた。	
○光熱費削減、SDG'Sに繋がっている。	
○続けて作成する意欲がでて、セールの商品にも出品できた。会員外にも購入して使ってもらえることができるきっかけになった。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
○まず会員が有効に利用し使いこなすことで、社会に広める基礎ができると考えられる。	
○コロナ禍も収束の兆しが見えてきたので、鍋帽子®を使った料理の持ち寄りや実習などを会員同士の交流の中でも盛んにしていきたい。そうしてますます社会に広めていきたい。	